UNIRITA Magazine

vol.46

ユニリタマガジン

ユニリタ
イメージタレント
朝倉あき

UNIRITA
5th
Anniversary

お客様の価値創造、その想いとともに5年間

UNIRITAユーザ会

皆さまに支えられ設立 42 年!
UNIRITA ユーザ会

システム管理者の会

発足 10 周年 !
システム部門の皆さまを応援し続ける
システム管理者の会

「A-AUTO」「Waha! Transformer」
グッドジョブ募集!キャンペーン

UNIRITA 特設サイトのご紹介

第 37 回 UNIRITA ユーザシンポジウム
出展パートナー様ご紹介

お客様の価値創造、その想いとともに5年間

ユニリタは2015年4月、システム運用の（株）ビーエスピーとデータ活用の（株）ビーコンITが合併し、“ユニーク”な発想と“利他”の精神をもって社会に貢献するという想いを社名に込めた（株）ユニリタとしてスタートしてから5年の歳月が流れました。その間、社名に込めた想いを実践するべく役員・社員一丸となり業務に取り組んでまいりました。ユニリタ5年間の活動の一端をご覧いただくことで、よりユニリタをご理解いただければ幸いです。

あけましておめでとうございます。

ユニリタグループの新しいイメージタレントとして活動をしている朝倉あきです。
常に、新しいことやユニークなことに、失敗を恐れずに挑戦されているユニリタグループの姿勢に、私もすごく刺激を受けています。
これからも、さまざまなジャンルの映画やドラマに挑戦しながら、ユニリタグループと一緒に成長していきたいと思います。
本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

ビーエスピー

ビーコンIT

2015年4月

2016年5月
2016年3月期
連結売上高：72億円

- **㈱ユニリタに商号変更**
  システム運用のビーエスピーとデータ活用のビーコンITが合併。“ユニーク”な発想と“利他”の精神をもって社会に貢献するという想いを社名に込めスタート。
- **㈱ユニ・トランド設立**
  地方創生の社会課題解決への取り組みとして、地方の二次交通（バス事業）活性化のため、移動体向けIoT型ソリューションを提供する子会社を設立。
- **攻めのITを支援「Mr.CIO」リリース**
  企業のIT部門が「攻めのIT」の実現に向けた変化を求められる中、お客様のIT部門のコア業務へのシフトを支援するリモートアウトソーシングサービスの提供を開始。

2017年4月

- **㈱ユニリタプラス設立**
  西日本地域におけるお客様へのサービス提供力の強化のため設立。
- **㈱無限を子会社化**
  両社の技術力、業務ノウハウへの知見を合わせ、お客様の変革ニーズに応えるサービスソリューション開発力強化のため子会社化。

2018年1月

- **パートナー企業100社突破**
  ユーザ企業へユニークな価値を提供するため、パートナー企業と当社の製品・サービス、ノウハウを組み合わせた協業モデル化を推進。さまざまな業種業界に強みをもつパートナー企業とビジネス拡大を図る。

2018年4月

社内の文化創造や、ユニリタグループ社員がかかわった取り組み

- **UNIRITA Group Penguin Challenge スタート**
  新規事業の創出、事業化を支援するグループ横断型プロジェクトを開始。

2018年6月

- **農業×IT 自律型農業ロボットの実用化開発に着手**
  一次産業活性化の社会課題を「農業×IT」でアプローチ。福島イノベーション・コースト構想に参画し、高齢農家が多い果樹産業を支援するため、マニピュレータ系農業ロボットの実用化開発に着手。

2018年7月

- **BPM部メンバー著作協力 「正攻法の業務改革～日常生活から企業活動まで元気になるヒントがここにある～」出版**
  BPM部メンバーが十数年にわたり培ってきた業務プロセス管理の改善ノウハウをもとに、本書の著作に協力。国内企業に多く見受けられる業務プロセスの課題に対する改善の考え方や人員の配置など、約3カ月で結果を出せる業務改革の手順を紹介。

2019年1月

- **オープンインキュベーションセンターメンバー著書 「Amazon Web Services アプリ開発運用入門」出版**
  クラウドサービスの開発を行うにあたり、AWSを基盤として採用してきた当社のノウハウをもとに、AWSを活用したアプリケーション開発を始める方への入門書を著作。ITエンジニア不足が課題となるいま、実践的ノウハウを公開しITエンジニアを目指す方を強く後押ししたいという想いを込めた一冊。

2019年2月

- **運用に強い「ユニリタクラウドサービス」リリース**
  IT部門が抱えるシステムの安定運用、人材不足などの課題に対し、インフラ運用だけでなく、業務運用のサービス化にも対応したフルマネージドクラウドサービスの提供を開始。

2019年3月期
連結売上高：94億円

2019年6月

- **北海道大学と産学連携に関する基本提携を締結**
  ソフトウェアに特化したAIやビッグデータ分野で資源を提供し、共同研究として参画。新ITサービスの開発を目指す。
- **スマートアグリ開発に向け、南相馬市と相互協力連携協定を締結**
  本連携協定により、当社が推進するスマートアグリ開発、実用化の早期実現を目指すとともに、地域復興実用化開発等促進事業を通して、南相馬市の小中学校、農業高校などと連携した人材育成にも繋げていく。

2019年9月

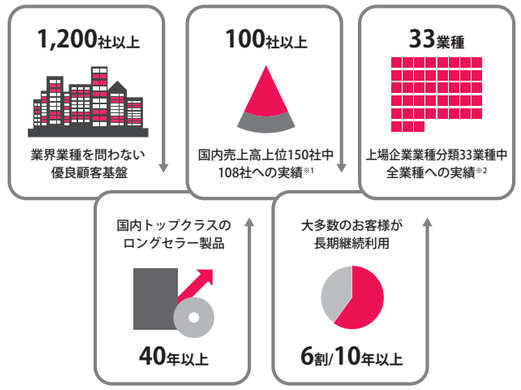
- **店舗運営をコミュニケーションとマネジメントの両面から支援する「STORE+」リリース**
  多店舗展開している流通小売企業向けに、コミュニケーションの活性化とマネジメントの効率化により店舗運営を支援するサブスクリプション型クラウドサービス「STORE+（ストアプラス）」の提供を開始。

2019年12月

- **業務プロセス可視化と改善ナレッジを共有するクラウドサービス「Ranabase」リリース**
  業務プロセスを可視化し、気づきや問題点を共有して、改善のサイクルを回すためのサブスクリプション型BPMクラウドサービス「Ranabase（ラーナベース）」のベータ版の無償提供を開始し、同時に「業務の可視化」や「業務改善ノウハウ」に関する情報を発信する専用サイト「カエル塾」を公開。

2020年3月期計画
連結売上高：100億円

数字で見るユニリタ



※1 企業価値検索サービス「Ullet」の発表データと、お取引のあるお客様を対象に当社で作成。
※2 東京証券取引所が分類する、銘柄33業種と、お取引のあるお客様を対象に当社で作成。

株式会社ユニリタ
代表取締役 社長執行役員
北野　裕行

あけましておめでとうございます。

ユニリタグループは、お客様にとって価値ある製品やサービスの提供を通じ、企業の業務効率化やビジネス拡大をご支援してまいりました。
この間、多くのお客様やビジネスパートナー様に支えられ、社員と共に事業も大きく成長することができました。
これからも、ユニリタの社名の由来である、”ユニーク”な発想と”利他”の精神で自ら挑戦することを志とし、新しい製品やサービスの開発と提供、そして社会課題解決に向けた「志事」に取り組んでまいります。
本年も、ユニリタグループをどうぞよろしくお願い申し上げます。

皆さまに支えられ設立42年!
UNIRITA ユーザ会

UNIRITA Users' Group

UNIRITAユーザ会は1977年（昭和52年）に、ユーザ相互および、ユーザとユニリタグループとの技術交流を目的として設立されました。

「業種、立場を超えたオープンな交流と明日のICTを支える人材育成の場」をキャッチコピーとして、ユニリタからの情報提供だけではなく、参加者主体の研究活動や情報交換を中心とした活動を実施してきました。また、異業種交流の場としてだけでなく、人材育成の場としても活用していただいています。

おかげさまで250社にのぼるユーザ会会員企業様にご協力いただき、2019年3月に設立42年を迎えることができました。

長年にわたりUNIRITAユーザ会を継続してこられたのは、ユーザ会会員企業様をはじめ、パートナー企業様やたくさんの人々に支えられてきた結果であると感謝しております。

1年にわたる研究部会活動をおこなったメンバーの中には、その後何年、何十年経っても仲間として現在も交流を持っている方々がたくさんいらっしゃいます。

こんな素敵な出会いの場でもあるUNIRITAユーザ会にあなたも参加してみませんか?

第37回UNIRITAユーザシンポジウム お申し込み受付中

開催期間

2020年3月5日(木)～ 7日(土)　2泊3日
3月5日(木)13:00～ (受付開始11:00)

会場

ヒルトン福岡シーホーク
〒810-8650　福岡県福岡市中央区地行浜2-2-3

参加費 ※金額はすべて税込みです

ユーザ会会員 54,000円/名　ユーザ会非会員 76,000円/名

アーリーバード実施中

2020年1月31日(金)までにお申し込みいただくと早期申し込み割引が適応され、以下の金額になります。お早めにお申し込みをご検討ください。

ユーザ会会員　48,000円/名　　ユーザ会非会員　70,000円/名

お申し込みはこちら

https://symposium.uniritauser.jp/
定員600名　お申し込みはお早めに!

主な活動

研究部会活動

1年間を通じてテーマごとに研究グループ活動をおこない、3月のユーザシンポジウムで研究成果を発表します。また、ユーザ相互の情報交換・技術交換を目的とした全体会を地区ごとに実施し、親睦を深めるための懇親会をおこなっています。

年間活動スケジュール

- 5月　春の全体会（キックオフ）
  - 各社持ち回りで研究活動を実施
  - テーマ深堀・合宿など
  - グループリーダ会議（中間報告）
- 12月　冬の全体会（シンポジウム準備・プレゼン講習など）
  - 発表資料準備
- 2月　発表資料提出
- 3月　シンポジウム発表

情報交換のための研究活動

ITフォーラム

各地区の方を中心に、会員企業の階層ごとに最新技術情報のテーマを設定し、幅広い分野での意見交換・討議の場として開催しています。

マネジメント研究会

全国のマネージャークラスの方々を対象に、マネジメントの立場から見た情報システムにまつわる最新の話題を幅広く取り上げ、情報交換を中心に開催しています。

ユーザシンポジウム

1年間のユーザ会活動の締めくくりとして、研究部会活動発表、ユーザ各社の事例発表の場として、「ユーザシンポジウム」を開催しています。

昨年度は、2019年3月7日～9日の3日間にわたって、ヒルトン福岡シーホーク（福岡県）において開催され、173社603名もの方々にご参加いただきました。

短期ゼミナール

1つのテーマを少人数、同一メンバーで数回にわたって討議・情報交換する勉強会の場を提供しています。また、業務などの都合で年間を通した研究部会活動に参加いただけない方々にもご参加いただくことで、UNIRITAユーザ会の研究部会活動を体験いただくことができます。

来年度研究グループメンバー募集のご案内時期について

来年度（2020年度）の研究グループメンバー募集のご案内時期は、2020年1月中旬頃を予定しています。
UNIRITAユーザ会Webサイトにて申し込みを受け付けますので、ぜひご確認ください!

発足10周年!
システム部門の皆さまを応援し続ける
システム管理者の会

SysAdmin's Group

システム管理者の会は、システム部門の皆さまを応援することを活動の指針に掲げ2009年3月に発足しました。

毎年7月の最終金曜日を「システム管理者感謝の日」と定めてシステム運用や管理に携わる人への感謝と敬意を表すイベントを開催し、人財育成としてエンジニアの技術力やモチベーションを向上させる取り組みを積極的に行っています。

応援活動の一環として、システム管理者の方々にカレーをプレゼントして感謝の気持ちを伝える「おつカレー様」活動を推進しています。

賛同企業:233社　**個人会員:17,400名**

毎年7月に開催するイベント「システム管理者感謝の日」をはじめ、全日本能率連盟の認証資格に登録されている「システム管理者認定資格」を取得できるシステム管理者認定講座など、さまざまな活動を通じてシステム部門の皆さまを応援しています。

活動のあゆみ

2007年　7月	「第1回システム管理者感謝の日イベント」開催
2009年　3月	「システム管理者の会」発足
2009年10月	「システム管理者認定講座」スタート
2009年12月	「リーダーズミーティング」スタート
2010年12月	個人会員：5,000名を突破
2011年　4月	賛同企業：100社突破
2011年10月	「システム管理者認定講座」が全日本能率連盟の登録資格として正式認定
2016年　4月、7月	賛同企業：150社、個人会員：15,000名を突破
2017年　7月	「おつカレー様」活動スタート
2018年　7月	「第1回システム管理者アワード」表彰
2019年　3月	「システム管理者認定講座」合格者：1,000名突破

「情シスあるある」を見て、「ああ、わかるっ!」という方、ぜひシステム管理者感謝の日に、励まされてみませんか?

「システム管理者の会」の会員は随時募集中です!
https://www.sysadmingroup.jp/

システム管理者感謝の日イベント
2020年7月9日開催決定　500名以上が参加

毎年7月の最終金曜日「システム管理者感謝の日」をご存知でしょうか?

「トラブルなく稼動して当たり前」とも言われてしまうITシステム。その陰には、ITシステムを支える方々の粘り強い支えがあります。

システム管理者感謝の日は、そのようなシステム管理者のハードワークと献身に感謝する日として米国で誕生しました。当社もこの活動を日本で広げるべく、2007年に記念日として登録しました。

システム管理者感謝の日イベントは、その名の通り「システム管理者感謝の日に、システム管理者に感謝する」ためのイベントとして始まりました。2007年以降 毎年7月に開催しています。

当会が推進する"システムを支えている人々への表彰や感謝の気持ちを伝える取り組み"の活動報告「システム管理者アワード」の年間表彰も発表します。

受賞各社様には本活動を盛り上げていただき、誠にありがとうございます。

システム管理者認定講座
2020年度のお申し込みは2月から

資格が取得できる。
3日間で6,000円。

システム管理者認定講座は、システム管理者を目指す若手から中堅者を対象にした、スキルアッププログラムです。ヒューマンスキルとテクニカルスキルの両面から、システム管理者に必要な知識や心構えの習得を目的としています。最終日に実施する認定試験に合格すると、全日本能率連盟の認証資格に登録されている「システム管理者認定資格」を授与します。

		1日目 ヒューマンスキル	2日目 テクニカルスキル ナレッジ編	3日目 テクニカルスキル 実践編
上級コース	事業とITの関係を理解し、全体を見通すことのできる人材を目指す方に。	コンセプチュアルスキル	ITサービスマネージャのための事業関係管理	顧客要件の分析とITサービスマネジメントの実践
中級コース	IT組織内の活動をリードする立場で、運用改善の実践を主導できる人材を目指す方に。	リーダシップスキル	運用管理者のためのプロジェクトマネジメント	運用改善プロジェクト計画立案の実践
初級コース	システム運用管理を確実に実行できる人材を目指す方に。	コミュニケーションスキル	ITサービスマネジメント入門	効果的な運用プロセスの実践

システム管理者認定講座 名古屋開催 決定!
開催日程 2/14(金)～他

関東地区以外での講座開催の要望にお応えし、このたび名古屋にて開催する運びとなりました。
当会Webサイトよりお申し込みください。

お申し込みはこちら

YouTube始めました!?

当会の活動をご支援いただいている企業・団体のご協力のもと、「システム管理者感謝の日」を紹介する動画を公開しています。システム管理者の会の活動を、システム部門の方なら共感できる「あるあるネタ」などを交えて面白おかしく紹介しています。ぜひ一度ご覧ください。

YouTube チャンネルはこちら

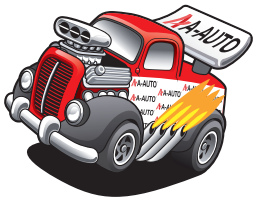
A-AUTO® Waha! Transformer®

グッドジョブ募集！キャンペーン

20年以上企業の基幹システムを支えてきた ジョブ管理基盤「A-AUTO」とデータ連携基盤の「Waha! Transformer」。
今後、システム運用もサービス化やサブスクリプション化の波から逃れられない中、同じ基盤を利用しているユーザ同士でベストプラクティスを共有し、拡大するシステム・サービス運用の効率化を図るため、「こんな使い方してます」「これならみんなで使えそう」をお披露目いただく、グッドジョブ(A-AUTOジョブネット、Waha! ジョブ)募集！キャンペーンを開催します。
普段気にされることもなく皆さまのシステムの中で黙々と働いている「ジョブ」達をぜひ自慢してください。入賞された方には豪華賞品をプレゼント！
さらに、ご応募された方から抽選で30名にスターバックスカード(1000円分)をプレゼントいたします。
奮ってご応募ください。

「A-AUTO」、「Waha! Transformer」を知らない方へ、あらためてご紹介

「A-AUTO」は 1980年初頭に当時の富士フイルム情報システム部で開発されたジョブ管理ユーティリティが祖先です。バッチ処理における、スケジューリングの最適化と自動化を行い、ミスのないジョブ運用と省力化を実現しました。



2013年のA-AUTO
キャンペーンキャラクター

「Waha! Transformer」は 1990年代データウェアハウス(DWH)構築に向けたデータの収集・変換・管理の自動化を目的に生まれました。こちらも自動化ツールが源、Waha!はWAreHouseAutomation の文字を取った名称です。

2008年のWaha! Transformer
キャンペーンキャラクター
データレスキュー隊
ツナガルンジャー

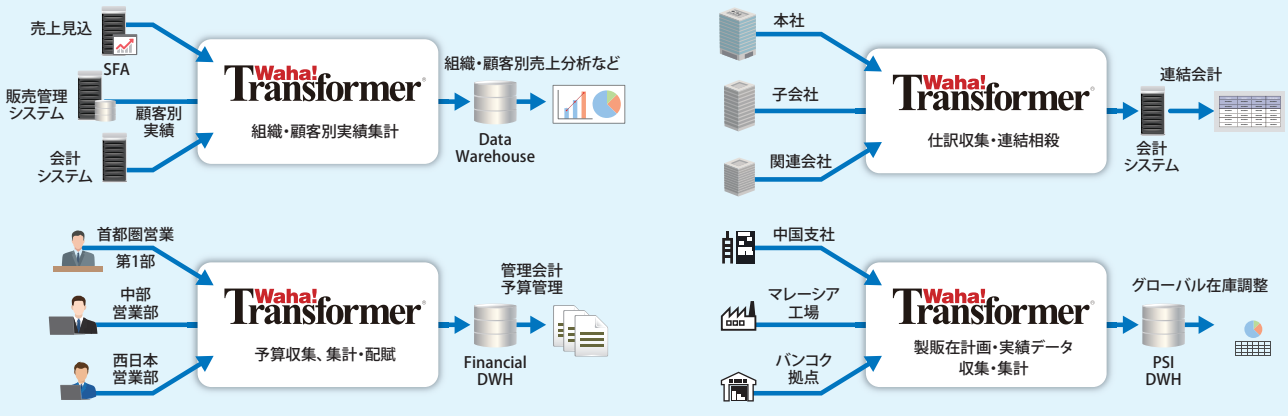
この2つのソフトウェア・プロダクトは長年の利用実績を経て、当初は思いもよらなかった利用拡張が進んでいます。これらはすべてお客様の現場にあるニーズから生み出されたものです。

「A-AUTO」はメインフレーム時代バッチで行われたデータ処理、データの取り込み・洗い替え、帳票データの作成・仕訳・出力、バックアップや最適化などのシステム運用の制御が主な仕事でした。オープン化以降はこれらに加え、分散したシステム間のデータ連携や同期など、単純なスケジューリングやカレンダー制御だけでは難しい業務にも対応してきました。

「Waha! Transformer」は、

- DWHデータを作るために、各部門からの予算を収集し管理セグメントごとに集計を行いフィードバックする予算編成の仕組みに適用
- 同じ仕組みを利用し、関連会社の会計データを収集、相殺処理を行う連結会計処理の実施
- 海外拠点の在庫実績と製販在計画と突き合わせたグローバル在庫調整の実現
- システムで管理されないExcelデータを含む管理帳票の作成

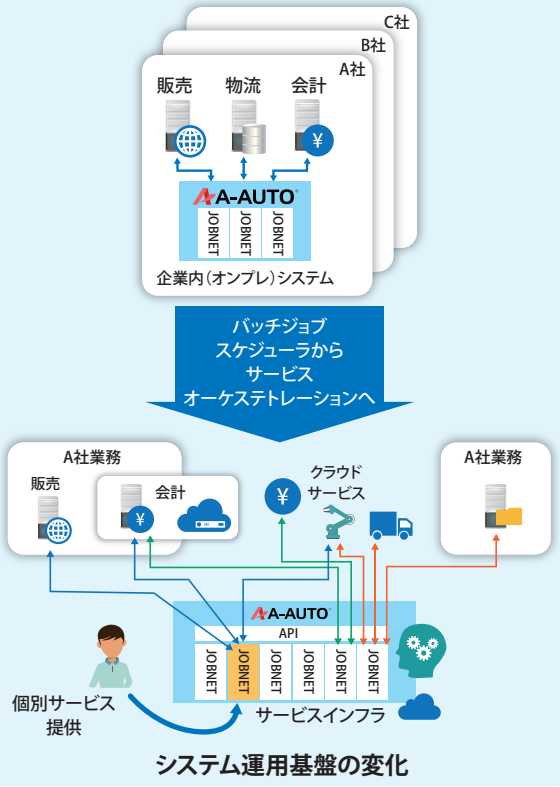
など、さまざまな用途で使われています。これらは事例として紹介され、ベストプラクティスとして自社に応用展開した企業がたくさんあります。



データの収集・統合における活用例

システム運用基盤が変わる

「A-AUTO」も「Waha! Transformer」も、1つの会社や事業体の中で、その内外のシステムをつなぐ役割として多く利用されています。現在では企業内に基盤を置き、システムにおいて個別のジョブを作成して制御していますが、今後クラウドへのシフトや業務のサービス化が進み、バッチ処理からAPIによる連携が主になってくると、システム運用基盤のあり方も変わってきます。



システム運用基盤の変化

近い将来、「A-AUTO」も「Waha! Transformer」もクラウド上でのプラットフォームサービスとして提供され、従来の買い取りモデルではなく、本当の意味でのサブスクリプションのサービスとなる予定です。(現在は過渡期として、利用料方式で資産も運用も持たないサービスの提供を始めています)

そうなれば、皆さまが既に利用している、あるいは、作成された「A-AUTO」や「Waha! Transformer」のジョブが、世の中で利用されるようになり、その逆もしかり、で、世界中のベストプラクティス(グッドなジョブ)を 皆さまが利用できるようになるかもしれません。

ジョブの例

例えば、「A-AUTO」でいえば、

企業内のバッチジョブ制御だけでなく、日常業務の中で自動化したいがRPAだけじゃなぁ、というものにも応用できるかも。「毎週土曜日に海外支店のSFAが更新されたら、金曜日に集計された本社の見込値と合算してレポート出力し、グローバルの電子帳票システムと連携し、役員にメールを送る。」など、カレンダーやイベントトリガ、先行・後続制御が必要な業務ってたくさんあるはず!

例えば、「Waha! Transformer」でいえば、

「勘定奉行の仕訳データとSalesforceのデータを集めて顧客ベースで集約する」、「SAP ERP の売掛金データと銀行の入金データを突き合わせて自動消し込みを行う」などというジョブは実際に動いており、ジョブ自体はそのまま汎用化(テンプレート化)できるものではないでしょうか。

グッドジョブ募集!キャンペーン

ということで、皆さまの「こんなことやってますよ」
「こんなことできる(はず)」「こんなことできたらいいな」
というグッドなジョブやアイデアを募集します。
奮ってご応募ください。

賞品

グッドジョブ賞	最優秀賞 Amazonギフト券2万円分　2名様 (A-AUTO、Waha! Transformer各1名) 優秀賞 Amazonギフト券1万円分　4名様 (A-AUTO、Waha! Transformer各2名)
グッドアイデア賞	最優秀賞 Amazonギフト券2万円分　2名様 (A-AUTO、Waha! Transformer各1名) 優秀賞 Amazonギフト券1万円分　4名様 (A-AUTO、Waha! Transformer各2名)

そのほか、ご応募いただいた方より抽選でスターバックスカード1000円分を30名様にプレゼントいたします。

応募期間

2020年1月7日(火) ～ 2月29日(土)まで

応募方法

応募開始日(2020年1月7日(火))に開設されるユニリタWebサイト内のエントリーフォームにて必要事項をご入力しご応募ください。

https://www.unirita.co.jp/good-job.html

グッドジョブ賞

お使いのジョブに対する説明と利用状況などを記載の上、それぞれのジョブファイルをご提出ください。

A-AUTO：Mastercsvユーティリティにてダウンロードした A-AUTOマスタ情報 拡張子CSV ※A-AUTO Ver7.1以上にて当ユーティリティは使用できます。

Waha! Transformer：ジョブ形式エクスポートファイル 拡張子wtj

グッドアイデア賞(応募対象者:どなたでも応募可能です)

A-AUTO、Waha! Transformerを利用していなくても、日々の業務の中で運用業務やデータの集計/加工業務で自動化できたらいいなといった、アイデアがございましたらお聞かせください。

審査基準

ご応募いただいたジョブやアイデアについて、ユニリタ社員による投票を行い、得票数が多かったものものをそれぞれの入賞とします。
評価のポイントは、発想のユニークさや、広く一般的な定型業務に応用/活用できる利便性、将来的にパーツ化が可能な共通性などを総合的に審査します。

入賞者/当選者の発表

3月31日(火)までに、ご登録いただいたe-mailアドレスにご連絡の上、当社Webサイトにて発表いたします。

※スターバックスカードの当選者は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

注意事項

ご応募はお1人様何回でも可能ですが、当選はお1人様1回となります。

審査/当選に関わるお問い合わせはお受けいたしかねますので、ご了承ください。

さまざまな理由により入賞者の発表、および賞品の発送が遅れる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

UNIRITA 特設サイトのご紹介

朝倉あき Presents　WHAT'S UNIRITA GROUP?

特設サイトの「朝倉あき Presents WHAT'S UNIRITA GROUP?」では、ユニリタグループをより身近に感じていただくため、朝倉あきさん視点の分かり易い表現でユニリタグループの事業コンセプトを紹介。他にも、事業マンガやグループ経営陣によるコラムなどを公開しています。またスペシャル記事には、朝倉さん自らがユニリタを訪問、当社社長の北野との対談や社員との座談会なども掲載しています。ユニリタコーポレートサイトでは見る事のできないユニークなコンテンツが満載です。これからもどんどん更新していきますので、どうぞご期待ください。

主なコンテンツ

- **ユニリタグループの事業コンセプト**
  Create Your Business Valueに込められた想いや、新規事業の「社会課題の解決」に向けた取り組みなどを紹介!
- **朝倉あきが研究!スペシャルコンテンツ**
  当社社長の北野との対談やユニリタグループの社員との座談会などを紹介!
- **グループ各社代表のコラム**
  ユニリタグループ各社の代表が独自の視点で語ります!

詳しくはこちら

http://lab.unirita.co.jp/

第 37 回 UNIRITA ユーザシンポジウム 出展パートナー様ご紹介

ユーザシンポジウムにはこんなパートナー様が出展します！

ご来場いただくお客様への幅広い情報提供や課題解決のため、多くのパートナー様に出展いただきます。出展いただくパートナー様の一部をご紹介させていただきますので、シンポジウムへお越しの際は、パートナーブースへぜひお立ち寄りください。

株式会社日立ソリューションズ

紙の注文書や請求書に記載された情報を業務システムへ手入力しているデータエントリ業務にＡＩによるデータ抽出技術を活用し、作業負担や人的ミスを大幅に軽減するソリューションをご紹介します。従来手間が掛かっていた伝票や請求書のデータ突合作業を効率化するだけでなく、基幹システムとの連携もご支援。紙書類からのデータ抽出、チェック、システム入力までの一連の業務をまとめて効率化し、働き方改革にもつながります。

アライズイノベーション株式会社

次世代AI OCR『AIRead』とローコード開発ツール『AIRead Screen Designer (Wagby)』、RPAツール『WinActor』を中心に、お客様の働き方改革を実現するソリューションを紹介します。

JFEシステムズ株式会社

電子帳票システム「FiBridgeシリーズ」により、データ活用や帳票運用のコスト削減、業務効率化をご提案いたします。
ユニリタ帳票製品との連携により帳票作成から保管までスムーズかつ短期間に構築を実現いたします。また、昨今の規制緩和で導入しやすくなった経理帳簿の電子化製品についてもご紹介します。

株式会社システムエグゼ

そのExcel申請書、そのまま電子承認システムにしちゃいます!
『Excelの申請書を印刷して決裁完了後、またデータを手入力』『申請者が紙をもってスタンプラリー』『あの申請書、今誰が止めてるんだろう?』『途中で申請書が紛失しました!』『過去の申請を探すのも大変!』そんな残念なExcel申請書の紙運用を見直しませんか？Excel申請書のフォーマット、計算式はそのままに、電子化、データ化が簡単にできます。

株式会社ソフトウェア・パートナー

業務システムは、画面処理が７割、バッチ処理が３割で開発されているといわれています。Webアプリケーション自動生成ツール「Wagby」とETLツール「ETL Platform」の利用により、ノンプログラミングで業務システムが開発できます。業務システムの再構築や内製化によるシステム開発を考えている方、超高速開発によるビジネスを考えているSIerの方はぜひお立ち寄りください。

東京システムハウス株式会社

東京システムハウスは、レガシーマイグレーション一筋25年。『MMS（メインフレーム・マイグレーション・サービス）』でレガシー資産のオープン化を実現し、お客様のDXの第一歩をご支援します。また、業務システム開発の効率化としてローコード開発ツール『Wagby』や新旧帳票や画像の差分比較を効率的に行うツール「SmartCompare」をご紹介するほか、業務自動化の課題に対応するサーバ型RPAツールの「Blue Prism」もご紹介しています。ぜひブースにお立ち寄りください。

株式会社ユニリタ　www.unirita.co.jp

本　　社　〒108-6029　東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟　TEL 03-5463-6383
名古屋営業所　〒451-0045　名古屋市西区名駅3-9-37 合人社名駅3ビル（旧48KTビル）　TEL 052-561-6808

ユニリタグループ　株式会社アスペックス ／ 株式会社ビーティス ／ 株式会社データ総研
備実必（上海）軟件科技有限公司 ／ 株式会社ビーエスピーソリューションズ
株式会社ユニ・トランド ／ 株式会社ユニリタプラス／株式会社無限

※ 本誌掲載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
※ 掲載されている内容については、改善などのため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

©UNIRITA Inc. 2020.01　MG46-2001-1500-1